



指導主事だより

# なんだか うれしい

教育委員会

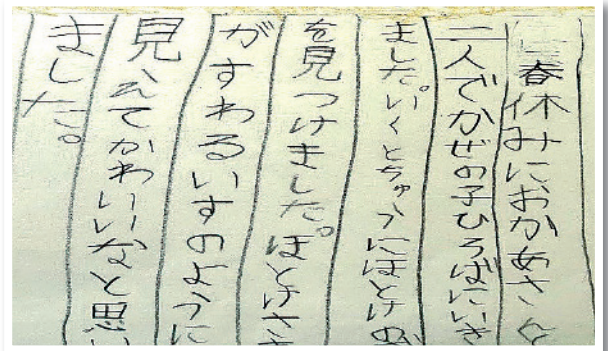
相談時間等

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分  
電話0267-56-3131 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時  
電話0267-56-1076 (呼)
- 立科町児童館/  
午前11時50分～午後1時40分  
電話0267-56-0248 (呼)

(担当 指導主事 中島一彦)



春を探しに野へ出かけた2年生。  
満開の桜、土手に広がるタンポポやツクシ、青く光るオオイヌノフグリ。イモリやカエルまで顔を出し、子どもたちの足元は春の気配であふれていました。  
教室に戻った子どもたちは、胸に刻んだ「自分だけの春」を文と絵に表していきます。廊下には、五感を総動員して描かれた作品が壁一面に並び、どのカードからも春の息づかいがそっと立ちのぼっていました。その中で、ひときわ心に残るカードがありました。Rさんが描いたホトケノザです。細部まで丁寧に描かれたその姿の下には、出会った瞬間の思いが静かに綴られていました。



野を歩きながら、Rさんは春休みにお母さんと歩いた日のことを思い出していたのでしょうか。権現山の丘を笑いながら歩く二人。同じ景色を見つめ、同じ風を感じる時間。真っ青な空が静かに見守っていたように思えます。



休み時間に「すごくじょうずにかけているね」と声をかけると、Rさんはにこにこしながら。「わたしね、見ないでかいたんだよ。」と応じてくれました。その言葉は、「お母さんと一緒に心に刻んだ春を、思い出しながら描いたんだよ」という声にも聞こえてきました。

Rさんのカードには、かけがえのない春が宿っています。その場に身を置き、匂いを感じ、音を聞き、手で触れ、根の姿まで確かめる・・・体ぐるみの体験は、単に「知っていること」と本当に「分かっている」ことの違いを教えてください。そして、そのことが実感される喜びをRさんの笑顔から教えてもらえるのです。

そこには、事実を正確に捉える観察力、実際に向き合い、事実から思いをめぐらし、事実で確かめようとする学びの姿勢がはっきりと表れていました。